

「反共は戦争の前夜」戦前の教訓を忘れない

日本共産党のマンシヨンのビラ配布活動を「住居侵入罪」と最終確定した最高裁判決に組織をあげて抗議します。

戦前、洋の東西をとわず、日本軍国主義とドイツ・ナチズムは、それぞれ最大最強の抵抗勢力、共産党を弾圧し、そのあと引きつづいて自由主義者、宗教者、一般国民の手と足と口を封じて、第二次世界戦争を強行しました。この侵略戦争によって実に五千五百万人も尊いのちが奪われました。

この痛苦の歴史の教訓は「反共は戦争前夜」、「共産党弾圧は全国民の自由侵害の前ぶれ」でありました。

「再び戦争を暗黒政治をゆるさない」を旗印に、治安維持法体制の再来に断固反対するわが同盟は、くり返し憲法違反の最高裁判決に抗議するとともに、今回直接被害を受けた日本共産党はじめ全民主勢力、そして広く国民と固く手を結んで、国内的にも国際的にも自由と人権、平和と民主主義擁護のために全力をあげて奮闘することを、ここに声明します。

二〇〇九年十二月一日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

会長 柳河瀬 精